

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

5月のなんでも相談会は、27日(月)13時30分~15時30分まで。30分刻みで要予約。法律相談、税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。

インボイス制度個別相談会は17日(金)、27日(月)10時~16時。40分刻みで要予約となります。



(購読料は組合費の中に含まれています。)

定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

第70回支部定期大会を開催



4月7日に豊島産業振興プラザ(IKE-Biz)6階にて第70回支部定期大会を代議員59人特別代議員8人の参加で開催しました。

来賓も、高際豊島区長をはじめ、鈴木庸介衆議院議員、米倉春奈東京都議会議員、芳賀竜朗豊島区議、小林ひろみ区議、儀武さとの区議、清水みちこ区議、垣内信行区議、森とおる区議、そして東京土建本部、城北ブロック役員を招いて開催致しました。

今年度の議長団は、和田和樹さん(かなめ)と古賀龍昌さん(さくら)が務め、若い世代の2人による元気のよい進行で議事は淀みなく進みました。

昼食後の分科会は、初めて6分科会で開催し(去年は5分科会)時間も2時間以上を配分しました。午前中の大浦書記長からの基調報告について、専門部の総括・方針について意見、感想が百出し、それらについてより綿密

な討議を行いました。

分科会後は、青年部、女性の会がそれぞれ活動報告を行いました。役員退任のあいさつでは、女性の会会長を退任する山本明美さん(上池袋本町)が代表して挨拶しました。

事業所の結集呼びかけ

午後の質疑応答では、保険証廃止問題について、後期高齢医療制度や市町村国保に加入する組合員は、保険証廃止後どのようにすれば良いのか?レジメに記載される資格証明書の説明が不明瞭であり、学習会の開催を検討するとあるが、早めに開催して欲しいとの質問、要望が出され、保険証廃止とそれに伴うマイナンバーへの紐づけについての不安や疑問が顕著に顕れました。また、支部大会への参加者で、直属事業所の組合員数が圧倒的に少ないことへ、事業所組



機関紙コンクール入賞の野本さん(左)と新井さん(右)・南池袋と宮本委員長

合員へも組合運動へ参加するよう今後どのようにしたらきかけていくのか、との質問がありました。大浦書記長からは、青年部部长、女性の会会長が直属組合員であることと、女性の会会長は支部大会に参加していることを証左に、今後も事業所に対して組織化、結集化を図るよう勤めるとの答弁がありました。

その後、新役員の選任と代表して宮本執行委員長から挨拶があり、第70回大会を陰で支えた実行委員の方々をそれぞれ紹介し、最後に団結ガンパロウの三唱で終了しました。

アンケートより

大会の主だった感想

- どの群も集まりが悪く苦戦している。そのためのレクなどを考えている。
- せっかく集まってくれた若手を一人にさせない、フォローを大切にする。
- 個人からチームになる組織作りが大切
- どの分会も財政役やりたがらない、一人で25年もやっている人もいる。どうしたら後継者に引きつげるのか。持ち回り制にしたらどうか。
- マイナカードの怖さを改めて実感。
- 健康保険証の取り扱いが難しくなると感じた。とても混乱することが予想できる。
- 分科会の時間が圧倒的に足りない。
- 仲間から出た発言は今後の運動の発展に活かせると思う。
- 建退共制度は早く入っておけばよかったと思った。
- 公契約条例はよくわかって無かったが、よし悪しの問題があることを知った。

- 住宅デーはやはり土建の大イベントだと思った。
- 建設業全体の問題へ、組合として包括的な活動をしてほしい。
- 年齢、事業主、労働者、外国人労働者など、すべての仲間を取り残してはならない
- 雇用に関する悩みを共有できる人がいて、同じ悩みを持っている事を知り、少し心強かった。
- 観劇に関して補助金が出ることを知らなかった。今後利用しようと思う。
- 火災・自転車保険に関して知らないことがあったのでもう一度見直したい
- 共済の口数を多くしてもカウントされること、共済推進行動を拡大といっしょに行うのは良い提案だと思った。
- 自転車保険の賠償責任の範囲についての優位性を伝えて声掛けをしていきたいと思った。
- コロナ禍によってオンラインなど制限されていたが、やはり対話や集団学習は活動に不可欠だと実感した。新役員の選出で若手後継者に大きな希望を感じた。
- 知らないは弱いと思った。多方面にアンテナを張っていきたいと思う。

2024年度支部役員

執行委員長	宮本 卓廣(上池袋本町・再)
副執行委員長	遠藤 正行(上池袋本町・再)
//	桑山 浩司(椎名町・再)
//	梅澤 光法(南池袋・再)
//	土橋 弘典(さくら・再)
書記長	大浦 康昭(かなめ・再)
書記次長	寺島 耕平(書記・再)
//	村田 勝利(書記・再)
//	瀬谷 裕太(書記・再)
常任執行委員	澤田 剛(さくら・再)
//	志村 照男(さくら・新)
//	川田 英明(南池袋・再)
//	山川 尚人(南池袋・再)
//	伊藤 寿(池袋・再)
//	鈴木公一郎(池袋・再)
//	原田 陽弘(かなめ・再)
//	佐藤 和也(椎名町・再)

執行委員	宮島 秀樹(再)
さくら分会	古賀 龍昌(再)
	塩崎 真巨(新)
上池袋本町分会	若林 光徳(再)
	井上 豊(新)
南池袋分会	前田 博久(再)
	太田 孝司(再)
	儀武弘友紀(再)
池袋分会	久保 祐之(再)
	白井 理八(再)
	伊勢村邦彦(再)
かなめ分会	富田 盛治(新)
	高林 和則(新)
	豊島 誠一(新)
椎名町分会	石井 隆也(新)
	田中 承宏(再)
	末政 孝純(再)
企業交流分会	山田 尚武(新)
	杉原 省吾(再)
	鎌田 隆(再)
会計監査	神林 幹雄(さくら・新)
	北島 旬子(南池袋・新)
	田中 陽子(椎名町・再)

※敬称略

働き方改革学習会を開催します

日時 6月26日(水) 14:00~ | 7月24日(水) 19:00~

場所 豊島支部会館3階

講師 高田社会保険労務士

詳しくは支部へお問い合わせください。

第94回メーデー

雨のなかデモ行進で 街頭へアピール



メーデーとは

メーデーの起源は、欧州での春の訪れを祝う祭りが、19世紀にアメリカで労働状況改善を求め、労働者が声を上げる日となり、世界各地に広がりました。現在ではアメリカ以外でも社会主義国や欧州、ラテンアメリカやASEAN諸国でも祝日として、労働者団体による集会やデモのほか、人々が集まり楽しむイベントを開催します。

コロナ禍を挟んで、前と後でメーデーの風景は一変しました。以前は、分会ごとに参加者分のお弁当やお茶を用意して、初夏の気持ちの良い空気の中、仲間たちとの飲食を楽しみながら、小難しいながらも演者の話に耳を

傾け、社会情勢についてみんなで意見を交わしました。しかし、会場の人工芝化により水以外の飲食が禁止された昨年は、食事を用意せず、デモ終了まで空腹を我慢する分会や、お弁当を用意した分会は、飲食可能な会場の外に出て食事を済ませました。

今年は、連休の合間の平日の開催という事情もあり、仕事で来られない仲間も多く、また、天候不順との天気予報に接し、体力的に最後までデモ行進する自信が無いとして、参加を見送る仲間もいて豊島支部からは40名とやや少なめの参加でした。

雨天のなかデコカーを先頭に

天気予報は的中し、10時過ぎから雨が降り始め、デモ行進が出発した

頃には本降りとなりました。会場に敷いたブルーシートには水が溜まってしまい、立ったまま式典を見送って、そのままデモ行進に出発しました。ただ、会場で飲食が出来なくなった代わりに、式典も冗長さはなく簡潔で、デモコースも短くなり13時には、終着点の銀座線外苑前駅前に到着してデモ行進は終了しました。

今年のデコカーのテーマは「保険証廃止反対・どけん国保を守れ」でした。マイナンバーカードを持つ政治家に、土建国保保険証を持つ職人が蹴りを入れる、直接的な表現のオブジェで4月中旬から3日を要して、実行委員が製作しました。このオブジェはデモ行進中、360°回転します。これは荷台の隅に隠れた実行委員の人力によ



るもので、努力と工夫が凝縮したデコカーを先頭に、40人の仲間たちは次第に強くなる雨のなかを歩き続けました。みなさん、お疲れ様でした。

春の仲間づくり運動始まる /

インボイス、働き方改革が拡大にも大きく影響

4月から始まった春の仲間づくり運動は26日に中間決起報告会を開催し、中盤に突入しています。

私たちのいのちと生活を守るとけん国保の、国や都からの補助金を確保するために、仲間同士の助け合い制度であるどけん共済を安定して運営するために、組織人数を増やすことは組合にとって大変重要な課題です。

組合では、春と秋の大々的な仲間づくり運動の他に、通年で仲間を増やす取り組みを続けているにもかかわらず、豊島支部だけにとどまらず、東京土建全体の組合員数は減少の一途をたどっています。

そして、今年は、昨年始まったインボイス制度や、この4月からの働き方改革により、建設業への逆風がより強くなる傾向にあります。

人手不足倒産の増加

働き方改革により時間外労働違反への罰則化に、他業種より5年の猶予を得ていた物流業、医師、そして建設業ですが、その対応の遅れから人手不足が深刻化しています(いわゆる「2024年問題」)。すでに昨年からの人手不足が原因で倒産する企業が増え始めており、大手情報サービス会社の報告によると、2023年1~10月の人手不足倒産は年間の過去最多を更新し、このうち、「2024年問題」に直面する建設業・物流業が半数を占めているとのことです。

こうした傾向が仲間づくり運動へも影響しているのかは現段階では不明です。しかし、例年に比べて分会内事業所からの加入が鈍い傾向にあることも確かです。

野本陽子 教宣部員 さくら分会

4月14日の統一行動日は、分会センターに10時に集合して車2台に分乗して行動しました。

長い間看板やポスターをお願いしていた仲間には、高齢の仲間も多く、亡くなった方もいて、新しく看板やポスターを貼らせてもらえる場所を開拓する必要があります。そんな中、仲間の紹介で新たにポスターをお願いしたところ、快く貼らせて頂くことができました。

また、26日の中間報告会では、センターに12人が集まりZoom会議が始まるまでの1時間は、組合員訪問をして、健診の呼びかけなどができました。Zoom会議では、飲食をしながら支部や、各分会の様子を聞くことができました。

さくら分会は8人の拡大目標ですが、現時点ではまだまだ足りません。拡大行動日には連日センターに仲間たちが集まり、協力して拡大運動に取り組んでいます。



原田陽弘 通信員 かなめ分会

かなめ分会は、12日に働き方改革について分会内事業所の方に聞き取りを行い、14日の統一行動では、看板5本とポスター1枚を貼り替えました。18日は、1件ですが訪問行動も行い、新入学祝金の案内をしました。

26日の中間報告会は、残念ながら2人だけの参加で分会の経過報告は私が行い、決意表明は玉木財政部長が行いました。今年度は、分会に積極的に顔を出してくれるような人材を発掘したいと考えています。玉木財政部長からは、分会レクに屋形船等の提案がありました。分会のつながりを強める為にも交流会を開催していく予定です。

かなめ分会は、目標4名のところ現在加入1名、対象者5名です。目標達成に向けて取り組んでいます。



山川尚人 通信員 南池袋分会

南池袋分会では統一行動を一週間延期して21日に行いました。

春の拡大統一行動はすでに始まっていますが、新しい看板やポスターを抱えて歩くといよいよスタートしたという気持ちになります。初参加の仲間には道を覚えてもらいながら、組合員さんを紹介しながら歩くようにします。その事で、仲間意識も盛り上がり顔を合わせた際に打ち解けやすくなります。

お邪魔した時に「いつもご苦労様」と明るく声を掛けてくれて、地元の仲間って良いなと素直に思います。

日曜日の朝からの行動で、予定を組むのが大変な時もあると思います。ですが平日働く仲間がお休みで、自宅にいる場合が多いというメリットもあります。一緒に行動する仲間たちと朝からガッツリと組合の話をする、夜間の行動だけではやりきれないことを補助できて大変有意義な行動だったと思います。

今後も仲間とのつながりを大きな強みとして、分会一丸となって拡大行動に取り組んでいければよいと思います。



田中承宏 教宣部員 椎名町分会

椎名町分会では例年通り「全世代が行動する拡大」を目指し奮闘しています。

4月14日の日曜行動では4班に分けてポスター貼りや看板立て行動を行いました。

また、第一次行動からはチラシ撒きや資料の投函なども行いました。しかしながら、行動自体はしっかりできてきているものの、なかなか成果に結びつかない、もどかしい拡大月間です。そんな中、役員ら奮闘で健診に興味のある仲間があらわれ、1件の加入を勝ち取ることができました。ほとんど対象者が出てこない中で、後押しとなる加入でした。

4月26日には中間報告会がおこなわれ、各分会の状況を聞き、拡大目標達成に向け改めて意思統一を図りました。5月は有力対象者だけでなく、分会内事業所などにも訪問し、対象者の掘り起こしを進めていきます。かなり苦しい月間ですが、最後まで奮闘し、拡大月間を駆けぬけたいと思います。

